

令和 7 年度使用

中学校用教科用図書研究資料（総評）

【社会（地理的分野）】

教科用図書北諸県採択地区協議会

発行者	総 評	備考
2 東京書籍	<p>(1) 社会科地理的分野の目標を達成するために、章の構成は、課題をつかむ、課題を追究する、課題を解決するという流れで構造化され、単元を貫く探究課題を解決していく学習活動ができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるよう、単元の終わりに「探究課題を解決しよう」が設定しており、地域のこれからを思考・判断・表現し課題を解決する力を高めるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 生徒にとっての分かりやすさについては、導入で印象的な写真を掲載し、興味・関心を高めさせたり、章や節ごとに単元を貫く問いについて独立したページを設けて、学習内容の見通しをもたせたりする工夫が見られる。</p> <p>(4) 社会的事象や社会問題を自分事としてとらえ、主体的に学ぶ態度を育成するために、持続可能な社会の実現に向けた「未来にアクセス」を設けたり、世界や日本の中学生が自分の地域を語る「聞かせて！中学生」を設けたりする工夫が見られる。</p>	<p>P 4</p> <p>P127</p> <p>P60 P187</p> <p>P85 P118</p>
17 教育出版	<p>(1) 社会科地理的分野の目標を達成するために、章・節の構成は、とびら・導入ページ、本時ページ、学習のまとめと表現ページになっており、見通しや振り返りの学習活動に取り組みやすくなるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるよう、「クロスロード」が設定され、学習内容を活かして、生徒が地域の課題解決に向けて思考・判断・表現できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 生徒にとっての分かりやすさについては、「LOOK!」「THINK!」等の見出しを設け、学習の視点を提示したり、章や節のまとめにおいて様々な種類の思考ツールを多用することで学習内容の可視化を図ったりする工夫が見られる。</p> <p>(4) 社会的事象や社会問題を自分事としてとらえ、主体的に学ぶ態度を育成するために、主権者としての社会参画の意識を高める「クロスロード」を設けたり、学びを掘り下げ、視点を広げる「地理の窓」を設けたりする工夫が見られる。</p>	<p>P25,27,42</p> <p>P230</p> <p>P58～59 P199</p> <p>P200～201 P85</p>

46 帝国書院	<p>(1) 社会科地理的分野の目標を達成するために、章・節の構成は、単元の見通しのページ、毎時の学びのページ、単元の振り返りのページとなっており、単元を通した学習活動に取り組みやすくなるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるよう、「アクティブ地理」が設定され、地域の課題について習得した知識や技能を使って実践的に考えていく学習を通して、思考力を高めるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 生徒にとっての分かりやすさについては、大きく鮮やかな写真やイラストを多用し、興味・関心を高めさせたり、章や節のまとめにおいて思考ツールを活用することで学習内容の可視化を図ったりする工夫が見られる。</p> <p>(4) 社会的事象や社会問題を自分事としてとらえ、主体的に学ぶ態度を育成するために、地域に見られる課題について考察する「アクティブ地理」を設けたり、課題の解決に取り組む視点を養う「未来に向けて」を設けたりする工夫が見られる。</p>	<p>巻頭 5</p> <p>P150</p> <p>P64</p> <p>巻頭 9</p> <p>P214～215</p> <p>P156～157</p>
116 日本文教出版	<p>(1) 社会科地理的分野の目標を達成するために、章・節の構成は、学習のはじめに、問いの設定、本文、まとめとふり返りのページとなっており、学習の見通しと振り返りができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるよう、単元ごとに「自分の考えをまとめよう」が設定してあり、既習事項を整理し、地域の課題を思考・判断・表現することができるよう工夫が見られる。</p> <p>(3) 生徒にとっての分かりやすさについては、章や節ごとに単元を貫く問いについて独立したページを設けて、学習の見通しをもたせたり、ポートフォリオを活用することで思考の整理をさせやすくしたりする工夫が見られる。</p> <p>(4) 社会的事象や社会問題を自分事としてとらえ、主体的に学ぶ態度を育成するために、現代的な課題について、様々な視点から考察する「持続可能な地域をめざして」を設けたり、学びの理解を深める「地理＋α」を設けたりする工夫が見られる。</p>	<p>巻頭 7</p> <p>P51</p> <p>P233</p> <p>P175</p> <p>P174</p> <p>P75</p>